

【同時発表】

港湾局産業港湾課、佐伯市

令和7年3月14日
九州地方整備局

「みなとオアシスさいき」を新規登録します

～浦の魅力を発見し、感じるみなとオアシス～

国土交通省港湾局は、令和7年3月29日に「みなとオアシスさいき」（大分県佐伯市）を港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」として登録します。

「みなとオアシスさいき」では、代表施設である「佐伯市観光案内所」を起点とした佐伯港を中心に広がる構成施設において、地域住民の交流促進や地域の魅力向上につながることを期待されます。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシスさいき」の登録により、「みなとオアシス」は全国で166箇所、九州管内で25箇所、大分県内で4箇所となります。
- 3月29日（土）に「みなとオアシスさいき登録証交付式」を開催します。
 - 時間：9時30分～10時00分
 - 場所：佐伯市大手町1丁目57-3（さいき桜まつり会場）
- 取材をご希望の方は、同時発表される佐伯市のプレスリリース記載の申し込みをご覧ください。

「みなとオアシスさいき」のポイント!!

- 代表施設「佐伯市観光案内所」は、クルーズ船が寄港する佐伯港から徒歩約8分の場所があり、県内外からの観光客がまず訪れる案内所です。年間126万人の旅行者を受け入れる佐伯市の情報発信拠点となっております。
- また、レンタサイクルスペース「さいきりんぐターミナル」も併設しており、自転車を借りて、おすすめの「まちポタコース」を周遊すれば、「山・川・海・みなとオアシス」を感じながら体感することができます。
- 「まちポタコース」の途中にある濃霞山（のおかやま）は、みなとオアシスエリアを一望することができるお勧めの休憩スポットとなっております。



佐伯市観光案内所



さいきりんぐターミナル



濃霞山からの一望

※ 「みなとオアシスさいき」の詳細については、別紙-1、別紙-2、別紙-3、別紙-4をご参照願います。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

担当：クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 佐藤 鉄志（さとう てつじ）
課長補佐 島田 雅志（しまだ まさし）

Tel: 092-418-3340（代表）092-418-3379（直通） Fax: 092-418-3037

「みなとオアシス」の概要

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客施設、展望施設、多目的ホール
- ・観光案内施設
- ・駐車場、トイレ、津波避難タワー
- ・産地直売施設、レストラン など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



標章
(シンボルマーク)



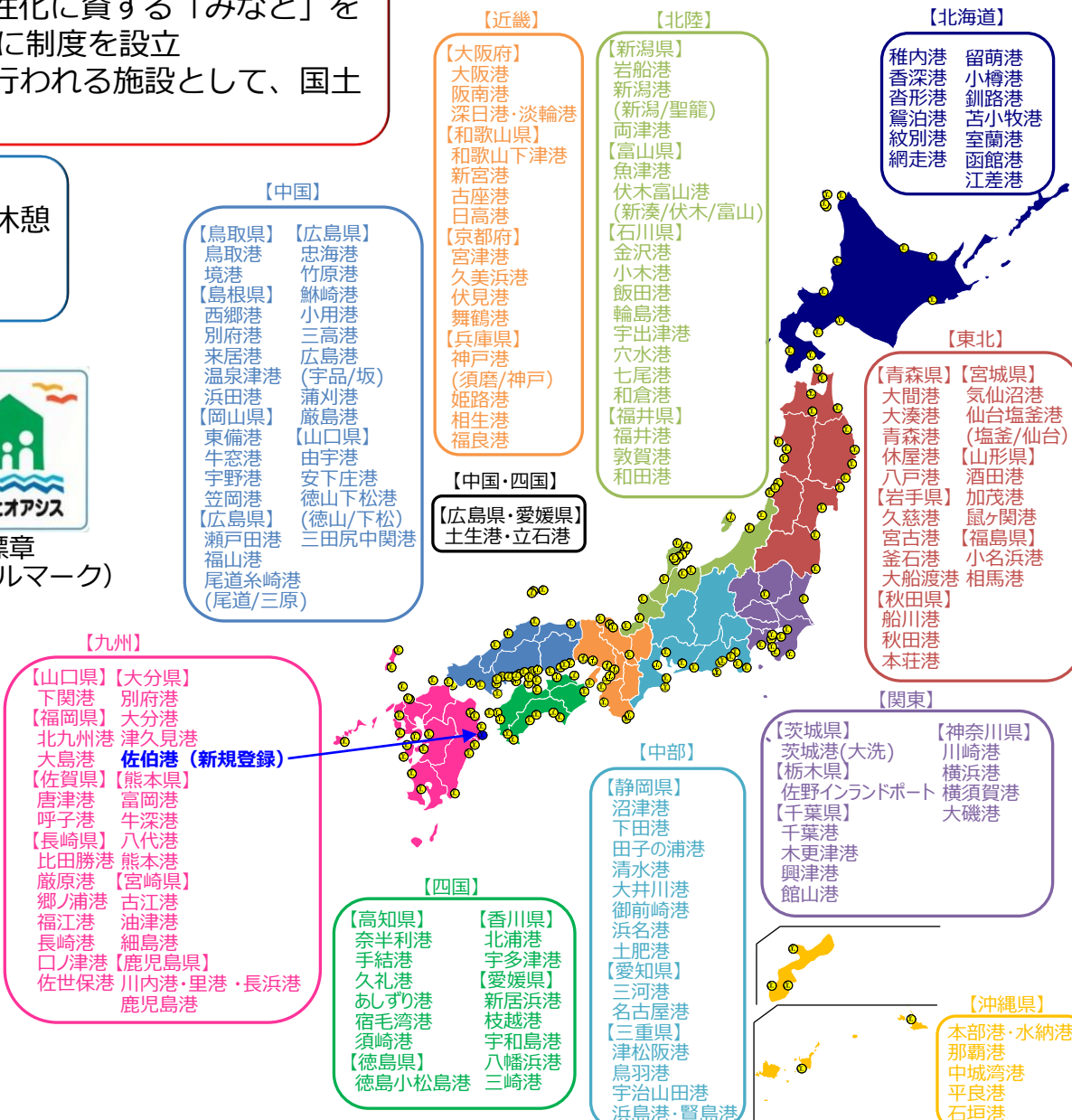
構成施設のイメージ
(下関港、カモンワーク)



地域振興イベントの開催状況
(Sea級グルメ全国大会in沼津)

登録数 **166**箇所
(令和7年3月29日予定)

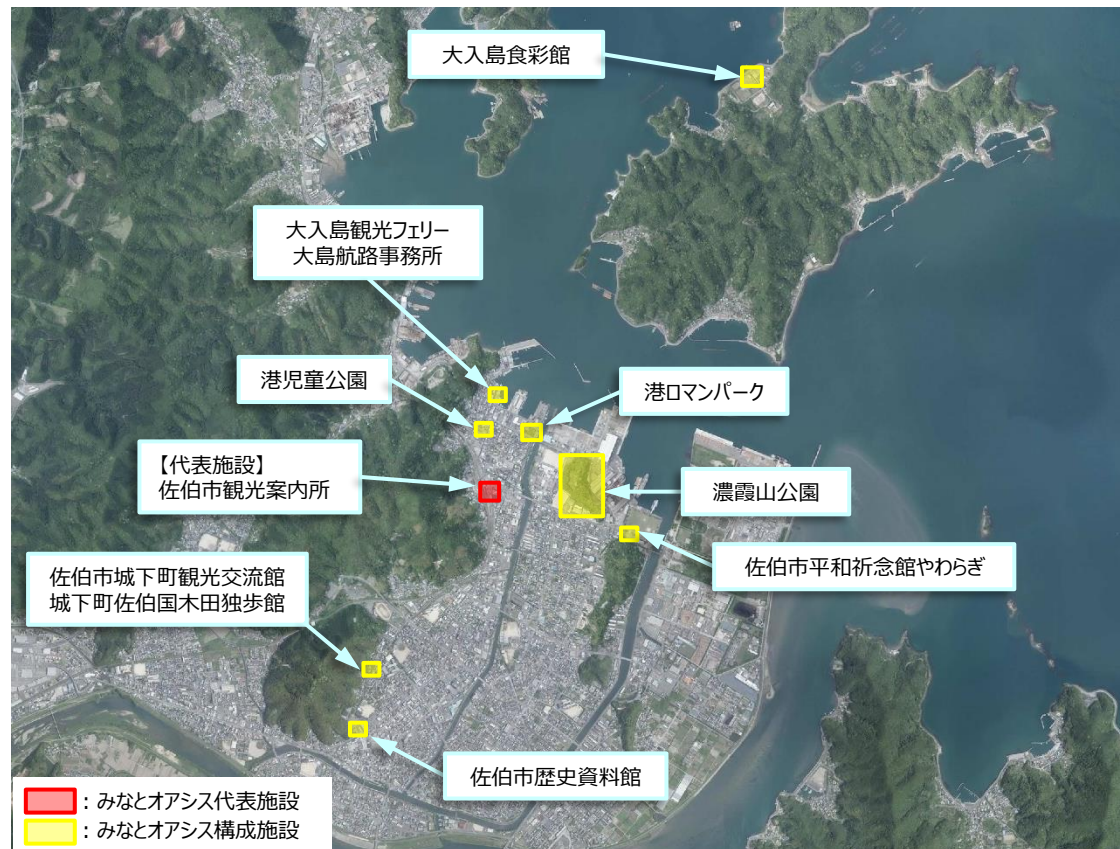
みなとオアシス所在港湾の一覧





国土地理院地図（電子国土Web）(<https://maps.gsi.go.jp>)をもとに作成

【基本情報】	
設置者	佐伯市
運営者	佐伯市
所在港湾	佐伯港【重要港湾】
港湾管理者	大分県
登録日	令和7年3月29日



【代表施設】



佐伯市観光案内所

【主なイベント】



九州オルレ さいき・大入島コース



佐伯みなとのお魚フェスタ



ツール・ド・佐伯

「みなとオアシスさいき」 構成施設

(代表施設) 佐伯市観光案内所



佐伯駅に隣接する観光案内所。佐伯港まで徒歩約8分。佐伯駅で下車した観光客がまず訪れる場所となっています。レンタサイクルスペース「さいきりんぐターミナル」も併設しており、自転車を借りて佐伯市内を回遊することができます。



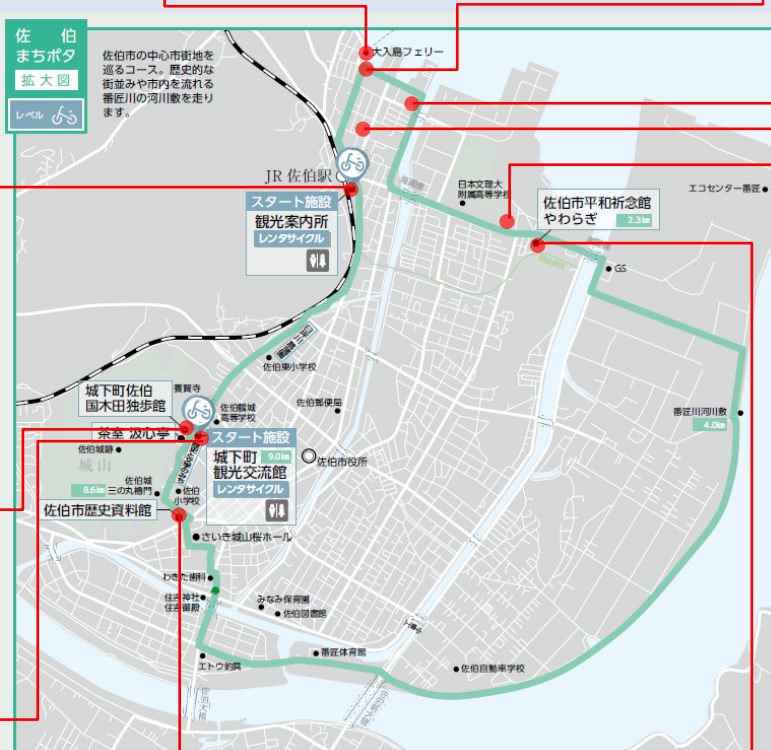
大入島観光フェリー

佐伯港と大入島をつなぐフェリー。「第八大入島」で約7分。1日15便運航しています。



大島航路事務所

鶴見大島までの定期船乗場、待合所、事務所があり、佐伯市内から大島まで直通約30分です。



佐伯まちボタ 拡大図 レベル 自転車

スタート施設 観光案内所 レンタサイクル

佐伯市平和祈念館 やわらぎ

港口マンパーク



港の雰囲気を感じながら過ごすことができます。駐車場有り。



港児童公園

遊具や休憩設備、多機能トイレがあります。佐伯駅と佐伯港の中間です。



大入島食彩館

佐伯港から定期船で約10分。お食事処、休憩スペース、散れ、カンガルー広場があり、大入島を体験できる施設です。



濃霞山公園

大入島や造船所の風景だけでなく、みなとオアシスを一望できる市民憩いの場です。



城下町佐伯 国木田独歩館

佐伯と独歩のかかわりを、彼の過ごした坂本邸を修復して公開しています。



佐伯市歴史資料館

佐伯に生きた人々の足跡をたどり、佐伯の港の歴史を身近に感じ、貴重な歴史遺産を探求することができます。



佐伯市 平和祈念館 やわらぎ

市民の皆様から寄贈・寄託頂いた資料を展示しています。



佐伯市 城下町観光交流館

観光客のみなさんが気軽に休憩できる場所として親しまれています。

「みなとオアシスさいき」イベント



九州オルレ さいき・大入島コース

【概要】

九州オルレさいき・大入島コースは、佐伯港からマリンスター常栄または大入島観光フェリーを利用して大入島に渡り、四国や豊後水道などを一望できる「遠見山展望所」、島の今昔を肌で感じられる集落道などを歩く、島の特徴を活かしたコースとなっています。距離は10.5km、所要時間は3～4時間となっており、中・上級者向けのAルートと中級者向けのBルートの2つのルートがあります。

【主催者】佐伯市

【開催時期】不定期

【開催場所】佐伯港～大入島

【イベント参加人数】約1600人



佐伯みなとお魚フェスタ

【概要】

毎年11月、佐伯魚市場にて開催される「佐伯みなとお魚フェスタ」。キッチンカーやテントでの飲食店ブースや佐伯の海鮮を堪能できる朝どれ鮮魚販売や海鮮丼販売、ヒオウギ貝釣りに地獄蒸しの他に、お魚すくい、ステージイベントやお魚〇×クイズなど、家族連れや友達で楽しむ佐伯の港まちを体感できるイベントとなっています。

【主催者】佐伯みなとお魚フェスタ実行委員会

【開催時期】11月

【開催場所】佐伯魚市場

【イベント参加人数】約2000人



ツール・ド・佐伯

【概要】

2015年より、この大会は、九州最東端の大分県佐伯市を舞台として、スピード競技ではなくゆったりと海、山、川の景観や様々な地域の魅力を楽しんでいただくサイクルイベントです。

煌めく海に映えるリアス海岸の山々の緑が、風光明媚な景色を織りなし、燦燦と降り注ぐ光と澄んだ空気は、訪れるサイクリストに最高の開放感を約束します。また、空の公園をはじめとした自然景観、歴史・文化、穏やかな気候と豊かな自然に育まれた地元グルメ、そしてそれぞれの地域に暮らす人々の温かいおもてなしでサイクリストを歓迎するイベントとなっています。

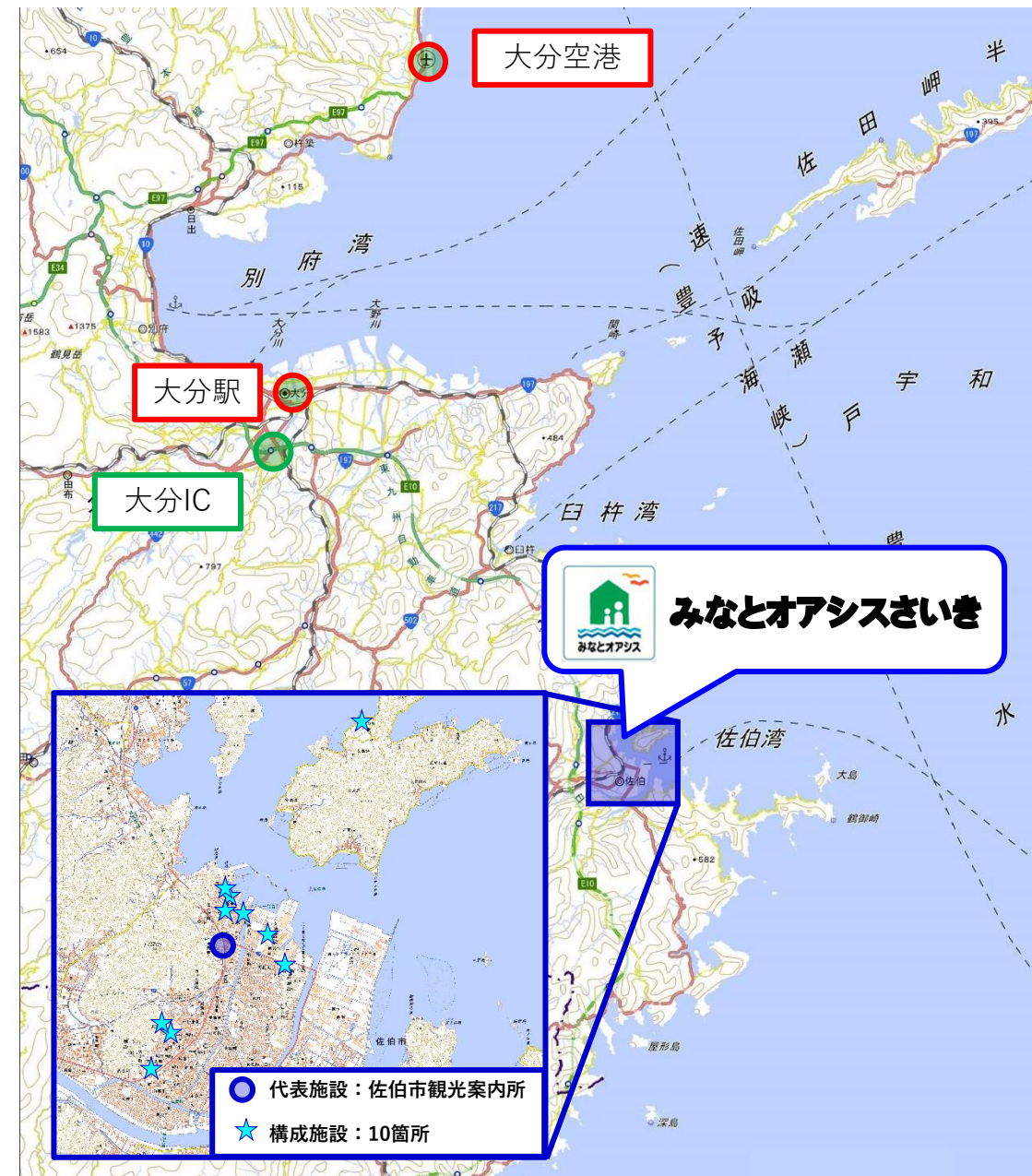
【主催者】佐伯サイクルツーリズム推進協議会

【開催時期】10月中旬

【開催場所】佐伯港周辺

【イベント参加人数】約2000人

「みなとオアシスさいき」へのアクセス



車でお越しの方

大分IC	福岡IC	北九州IC	熊本IC	宮崎IC
約55分	約2時間55分	約2時間35分	約3時間10分	約2時間20分
代表施設：佐伯市観光案内所				

公共交通機関でお越しの方

大分駅	博多駅	小倉駅	宮崎駅	大分空港
約1時間	約3時間30分	約2時間40分	約2時間	空港バス 約2時間10分
代表施設：佐伯市観光案内所				